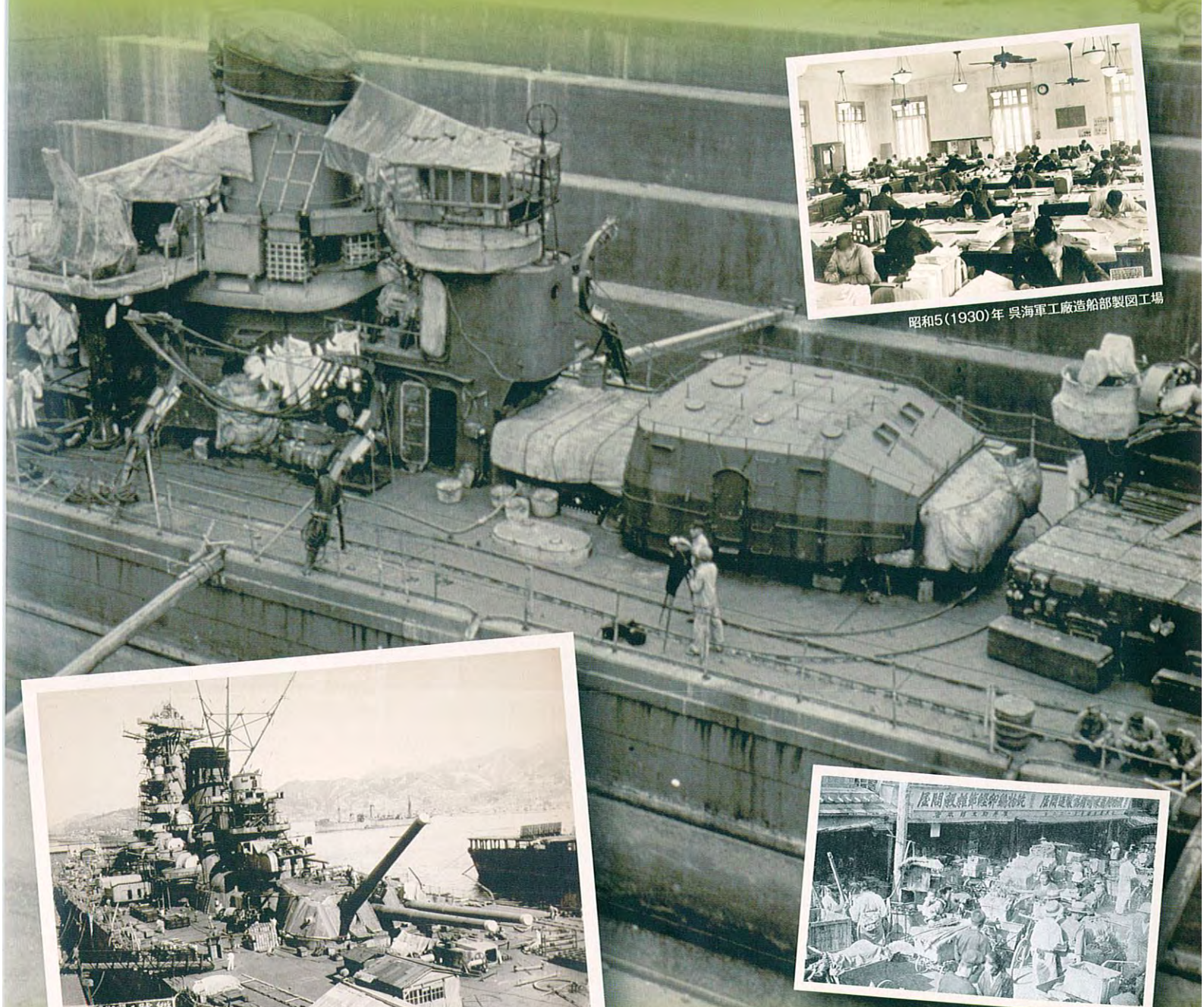


第24回企画展

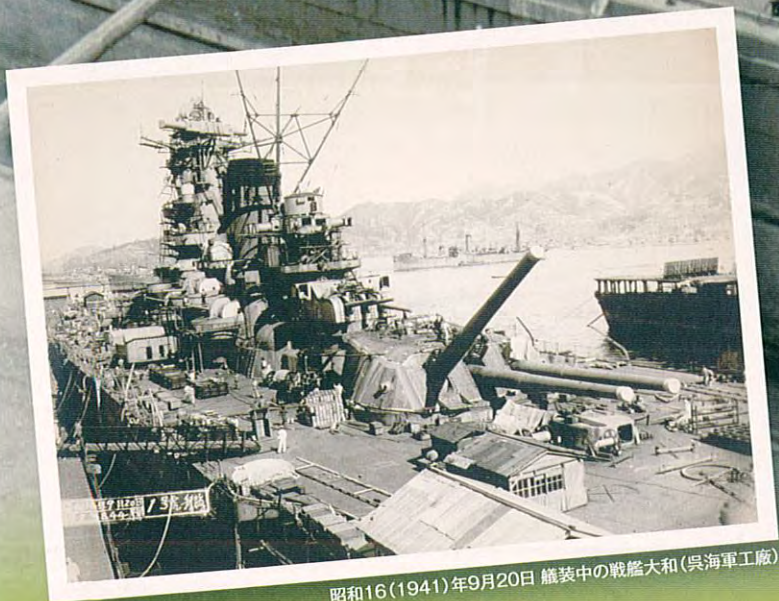
呉の人びとと戦艦大和の記憶

写真でつづる呉海軍工廠と市民生活

2016 7/2 SAT ▶ 2017 1/22 SUN



昭和5(1930)年 呉海軍工廠造船部製図工場



昭和16(1941)年9月20日 艦装中の戦艦大和(呉海軍工廠)



昭和初頭 呉青物魚市場(中通1丁目)

昭和17(1942)年 大破した駆逐艦「不知火」を撮影する人びと

料 金 一般(大学生以上) 800円(400円) / 高校生500円(300円) / 小・中学生300円(200円)
※常設展とのセット料金 ※ () 内は企画展のみの料金 ※呉市内に在住・在学の高校生以下は無料

開館時間 午前9時~午後6時 休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日) 7/21~8/31、12/29~1/3は無休

お問合せ 〒737-0029 広島県呉市宝町5番20号 呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム) TEL:0823-25-3017 FAX:0823-23-7400
<http://www.yamato-museum.com/>

写真は、19世紀初頭のフランス、イギリスで誕生しました。日本に初めて写真機材がもたらされたのは嘉永元(1848)年のことで、オランダ船を通じて長崎へ輸入されました。日本の写真史はここから始まります。

写真は、見たままの光景を正確に記録することができます。日本海軍においても、写真を重要視しており、戦場や記念行事などあらゆる場面を撮影してきました。また海軍工廠では、艦艇の建造や公試の状況などを撮影し、艦艇の建造技術の研究や、生産管理のために写真を活用してきました。

鎮守府開庁後、呉には多くの写真館がありました。海軍に

関連する施設が多く存在し、海軍兵学校への入校時や出征時などに、記念写真を撮影する機会が多かったからだと考えられます。

本企画展では日本海軍が撮影した艦艇や工廠の写真(福井静夫艦艇写真コレクション)、呉のまちの写真館で撮影された写真などを展示します。写真資料を中心に、明治・大正・昭和の海軍工廠内の様子、呉のまちの変化を紹介します。

本企画展を通して、海軍工廠の艦艇建造や、海軍をめぐる呉のまちの人びとの記憶にふれていただければ幸いです。



大正期に撮影された、呉海軍工廠本部



明治44(1911)年 稲田写真館で撮影した呉海軍工廠会計部材料課の人びと

大和ミュージアム企画展関連科学イベント

「簡単なカメラを作ろう」

呉工業高等専門学校協力事業

募集中

日時 9月19日(月・敬老の日)
10:00~12:00

対象 小学生(1~3年生は必ず保護者同伴)

申込 9月5日(月)(必着)までに、往復はがきで大和ミュージアム「簡単なカメラを作ろう」係。
(〒737-0029 呉市宝町5-20)へ。住所・氏名・学年・電話番号、返信面にも住所・氏名を記入。
※申込多数の場合は抽選。

参加費 無料

会場 大和ミュージアム3階実験工作室



大正11(1922)年 大正期の呉市中通、映画館の前に人だかりができています
(出典:『呉市名所写真帳』)

昭和16(1941)年頃
呉市中通六丁目にあった稲田写場
写真提供:稲田写場



- J R / JR広島駅からJR呉線 快速約32分
JR呉駅から徒歩約5分
- 自家用車 / ▶ 広島方面から広島呉道路(クリアライン)約20分
呉ICから約5分
▶ 山陽自動車道(広島東JCT)から
広島高速一広島呉道路 約30分 呉ICから約5分
▶ 山陽自動車道(高屋JCT)から
東広島・呉自動車道約40分
▶ 大和ミュージアム駐車場・220台(1時間100円)
- バ ス / ▶ 広島バスセンターからJR呉駅前まで約46分
JR呉駅から徒歩約5分
▶ 広島空港からJR呉駅前まで約60分
JR呉駅から徒歩5分
- フェリー / 呉中央棧橋から徒歩約1分